

ひざし

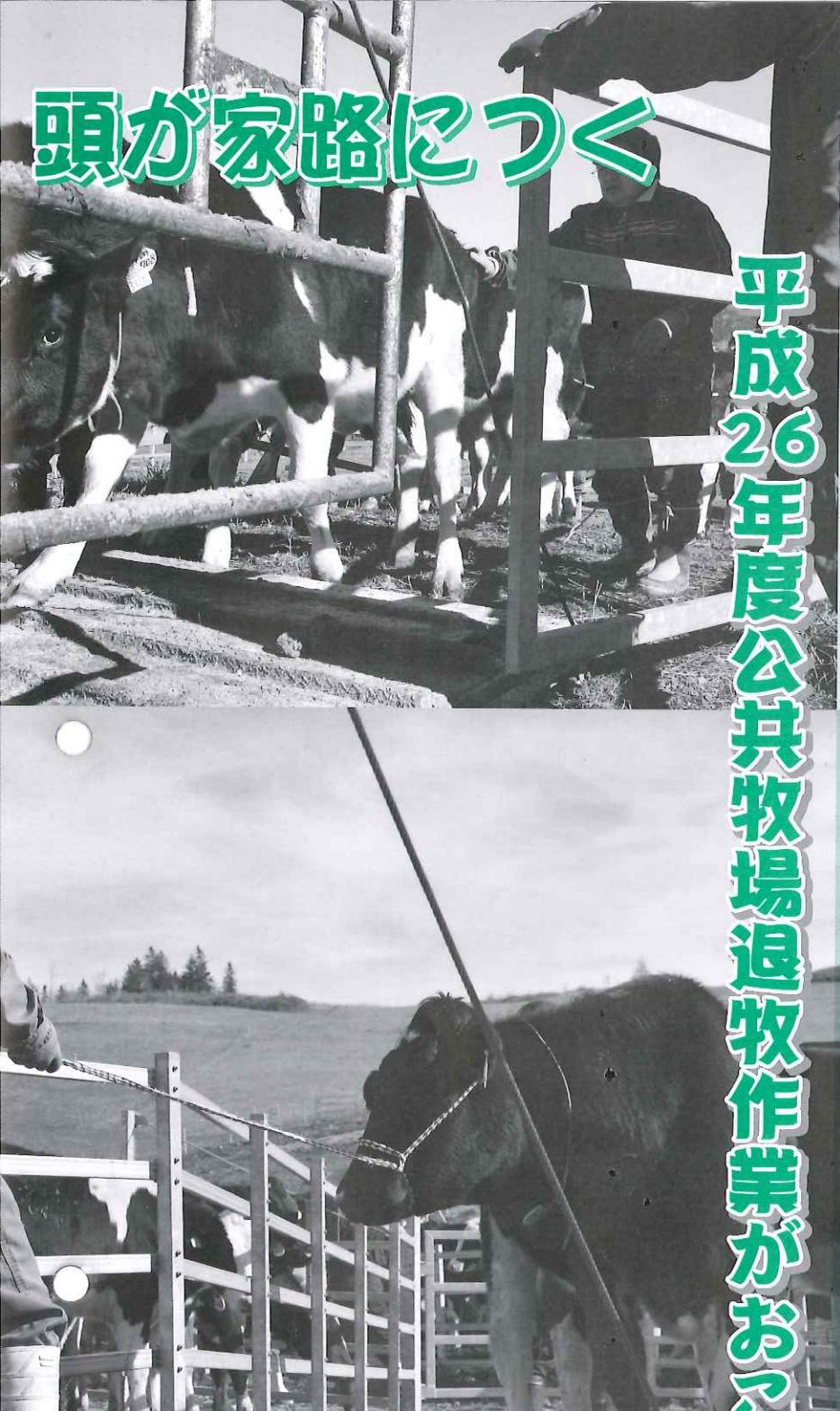
2014 11

No. 189



公共牧場退牧作業の様子（遠軽見晴牧場）

頭が家路につく



牧場で1000頭の退牧作業がおこなわれました

各関係機関の皆さんと協力して、利用農家、農協、
退牧作業では、利農家、農協、
順次おこなわれました。

自滝地区を皮切りに30日までの間、
ゆう管内の4地区5つの公共牧場
では、牛の退牧作業が10月15日の

山々の樹木もすっかり茜色に染
まり、秋の風に冬の空気を感じる
ようになつた晩秋を迎えて、えん

平成26年度公共牧場退牧作業がおこなわれました

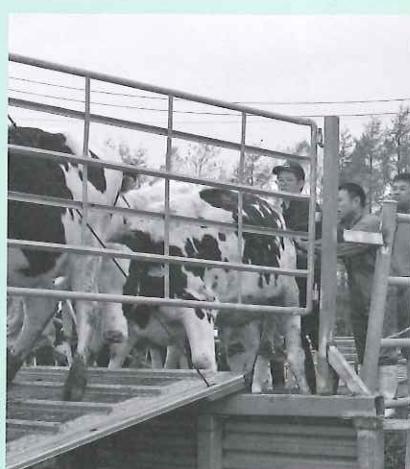
J Aえんゆう広報誌

ひざし

2014.11月号 No.189

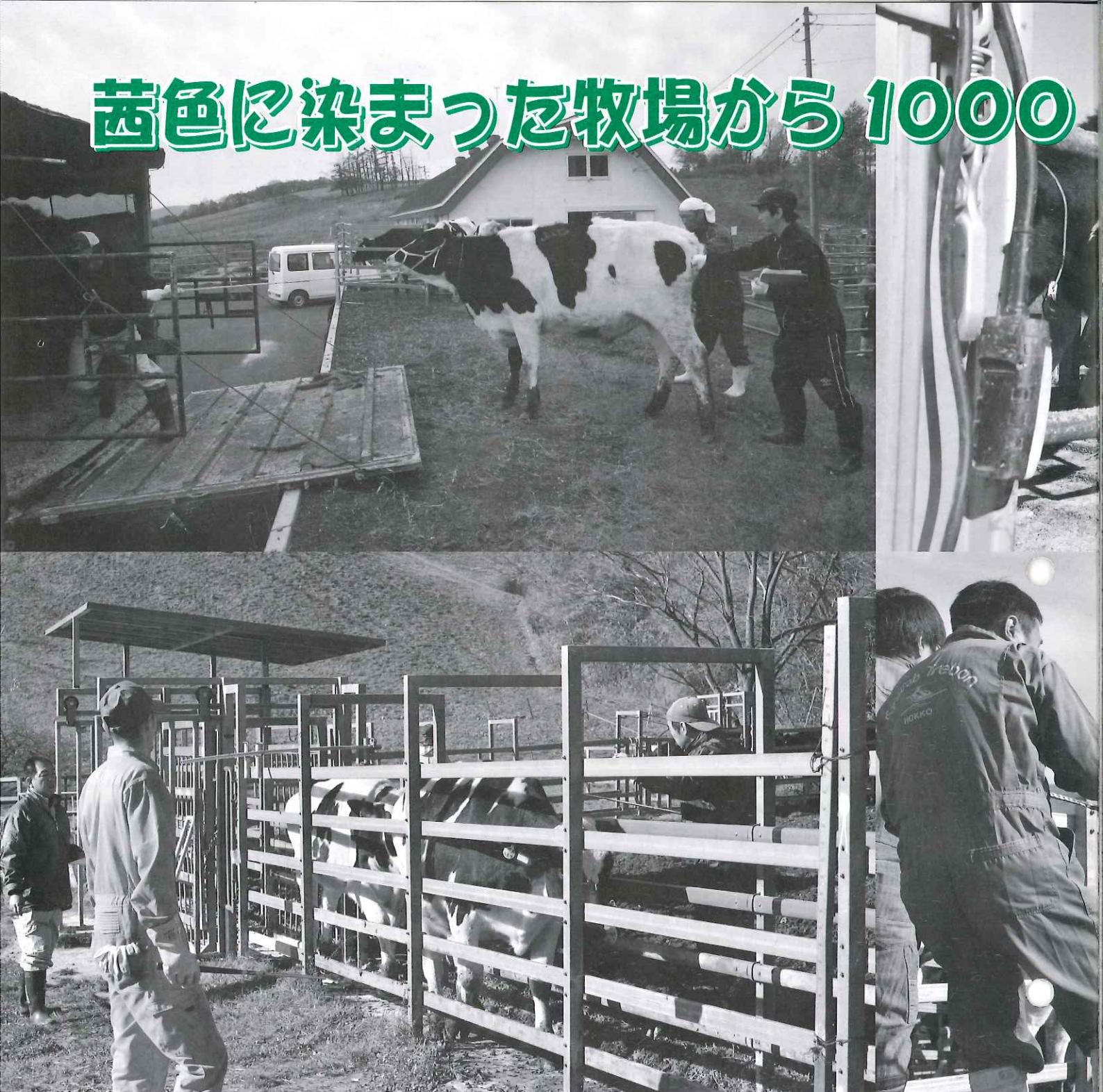
今月の主な記事

「茜色に染まった牧場から1000頭が家路につく」 平成26年度公共牧場退牧作業	2~3
各地区で甜菜収穫作業が最盛期です 酪農学園大学「酪農公開講座」が開催されました	4
第15回 J Aえんゆう組合長杯パークゴルフ大会 年金友の会秋季パークゴルフ大会	5
「クリームシチューとバターの手作り体験」 平成26年度子供農業体験学習 オホーツク農業祭で販促とP R活動	6
J A女性部合同研修会 エーコープ収穫祭で野菜と牛乳無料配布 サッポロさとらんど「農家・消費者交流会」	7
「農協法公布記念日にあたって」 北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章	8
特集～「TPP交渉問題を考える」～ 「TPPの食の安全安心(後編)」 北海道新聞編集委員・北海道大学客員教授 久田 徳二 氏	9
普及センターより	10~11
北海道信連実習職員紹介	11
理事会のあらまし 読者の声	12
クロスワードパズル 秋季農事部懇談会について	13
「一日皆貯金」のお知らせ いもたま作造くん	14



表紙写真：公共牧場退牧作業の様子
(遠軽見晴牧場)

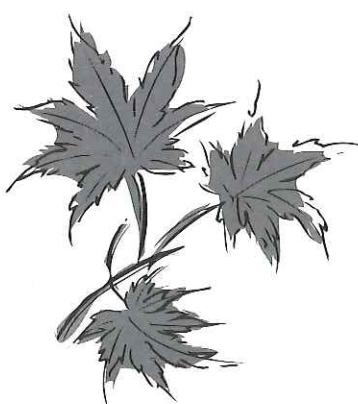
茜色に染まつた牧場から 1000



各地区の退牧作業の様子。10月15日の白滝地区を皮切りに10月30日までの間、各地区の5つ公共

り、乗降場に集められた牛たちを一頭ずつ確認と捕獲し、飼い主ごとに分けて、次々と家畜運搬車に乗せていく作業がおこなわれ、約5ヵ月過ごした牧場から飼い主の待つ牛舎やJAの育成センターに向かっていきました。

夏の間、新緑が眩しかつた牧場で美味しい青草を食みすくすくと育つた牛たちが、それぞれの飼い主の牛舎で活躍してくれることをご祈念申し上げます。



各地区で甜菜収穫作業が最盛期です



大きく育ったてん菜が掘り起こされています
(写真:湧別町北兵村一区の藤井勝美さんの圃場)

紅葉の色も一層濃くなり出した10月中旬から、えんゆう管内の各地では、砂糖の原料となる甜菜の収穫作業が最盛期を迎えています。

この時期になると、他の農作物の多くが収穫作業を終えて、黒土が見える圃場が増えてきた中、青々とし

た葉をつけた甜菜畑はひときわ目をひきます。

収穫作業は、まず甜菜の葉をビートタッパーという機械で切り落とし

た後、ビートハーベスターを使って、大地の中で大きく実つた甜菜を引き抜いて収穫していきます。

収穫された甜菜は、畑の横に作つた土場に積み上げた後、順次、製糖工場に出荷され、精製作業

を経た後、砂糖となつて消費者の手に届きます。

まもなく里山にも冬の便りが聞こえる頃ですが、焦る気持ちをおさえて農作業事故等に留意されるとともに、良い出来秋が迎えられますことをご祈念申し上げます。

酪農学園大学「酪農公開講座」が開催されました



酪農公開講座の様子

10月18日、酪農学園大学主催による第47回酪農公開講座が遠軽町福祉センターで開催され、当JA管内を始めとする農業関係者や同大などの同窓生など80名が参加しました。酪農公開講座は、酪農学園大学の建学の精神「健土健民」の普及と「酪農生産者(同窓生)への貢献」を目的に開催されています。

基調講演では「地域飼料資源を活用した酪農経営の多様な展開」と題し、須藤純一特任教授が講演するとともに、農食環境学群の高橋圭二教授が「不透明な酪農情勢を乗り切るための飼養管理方式と牛舎施設整備」、相原晴伴教授が「産業間連携に向けた取り組みについて」それぞれ講演がおこなわれ、終了後の質疑応答では活発に意見が取り交わされました。

第15回JAえんゆう組合長杯 パークゴルフ大会が開催されました

10月19日、湧別町五鹿山パークゴルフ場において、第15回JAえんゆう組合長杯パークゴルフ大会が開催されました。

当日の早朝は、霜が降りるほど冷え込んでいましたが、秋晴の天候で次第に暖かくなり、絶好の運動日和となりました。その中、69名（男子41名、女子28名）の参加者達は熱戦を繰り広げました。

結果は優勝スコアが、男子が89、女子が92と例年より

ハイスクアとなり、大変レベルの高い戦いとなりました。上位順位は下記の通りです。



優勝した笹尾隆則さん(写真右)と亀田友江さん(写真左)

《大会結果》(敬称略)

[4コース パー132]

男 子			女 子		
順 位	氏 名	ス コ ア	順 位	氏 名	ス コ ア
優 勝	笹尾 隆則	89 (グロス89、HD0)	優 勝	亀田 友江	92 (グロス92、HD0)
準優勝	加藤 勇	93 (グロス91、HD2)	準優勝	天野カズ子	101 (グロス100、HD1)
3 位	菊地 昭義	94 (グロス94、HD0)	3 位	高村 節子	105 (グロス105、HD0)



優勝した森正実さん(写真右)と松浦素美子さん(写真左)

年金友の会 秋季パークゴルフ大会が開催されました

年金友の会は、10月6日、年金友の会秋季パークゴルフ大会を湧別町の五鹿山パークゴルフ場白樺コースで開催しました。

今回の参加者は、上湧別地区25名、遠軽地区14名、丸瀬布地区1名、生田原地区3名あわせて43名でした。当日は、肌寒い日の中の開催となりましたが、参加者の皆さんはレ

ベルの高い熱戦をくりひろげて、笑顔のうちに終了となりました。
競技結果については、下記の通りです。

●今年の上位入賞者(敬称略)

●男子の部

優 勝 森 正実
(上湧別)

準 優 勝 小野 人司

(遠 軽)

3 位 青柳 恒敏

(上湧別)

ベストグロス 片平 和雄

(上湧別)

3 位 青柳 恒敏

(上湧別)

●女子の部

優 勝 松浦素美子

(上湧別)

準 優 勝 小野 人司

(上湧別)

3 位 天野カズ子

(上湧別)

ベストグロス

(上湧別)

松浦素美子

(上湧別)

クリームシチューとバターの手作り体験



早くバターになれ～！



みんなで食べると美味しいね！

J Aえんゆう青年部では、10月16日に子供農業体験学習を上湧別小学校四年生21名と一緒に開催し、過去3回の農業体験学習で種をまいて収穫した玉ねぎ、にんじん、じゃがいもをつかって、子供たちがクリームシチューと、バターの手作り体験をおこないました。

バターの手作り体験では、青年部員に作り方を教わった子供たちが、ペットボトルに生クリームを入れ、冷やしながら10分ほど振ることによりバターが出来上がりました。

クリームシチュー作りでは、青年部員も普段慣れない料理作りを子供たちと一緒におこない、料理の合間をみて蒸かしイモを作り、最後に子供たちの「いただきます」の掛け声で料理を美味しく食べることができました。今年度の農業体験学習もこれで無事終了しましたが、来年度も引き続き食育活動の一環として実施していく予定です。今後とも青年部活動に対しても理解ご協力いただければ幸いに存じます。

平成26年度子供農業体験学習

オホーツク農業祭で農業加工品の販促活動と乳製品消費拡大をPR

オホーツク管内のJA青年部員が集まり、今年収穫した野菜や農業加工品を販売するオホーツク農業祭が、10月18日に北見市で開催され、JAえんゆう青年部も参加してきました。

今年は、JAで製造しているレトルトカレーの販売と試食、乳製品消費拡大PR活動として、牛乳の無料配布をおこないました。

レトルトカレーの販売と試食では、多くの消費者の方々に来てもらいました。

また、PR活動としておこなった牛乳の無料配布も好評のうちに終え、今後の消費の増大につながれば幸いです。



販促活動と乳製品消費拡大PR活動の様子

J A 女性部合同研修会開催
フロアカーリングとペタンクで楽しむ



ペタンクの競技の様子

技でフロアを
一リング同様、みんなで
大きいに盛り上
がりました。
次回につ
きましても
趣向を凝ら
し、活動して
いきますので
、部員皆様
のご参加よ
ろしくお願
い申しあげ
ます。

J Aえんゆう女性部では、11月1日にJ A本所大会議室で合同研修会を開催し、女性部員32名が参加し、フロアカーリングとペタンクをおこないました。

フロアカーリングは、カーリングをもとに室内で出来るように考案された競技で、部員にも好評なことから、昨年に引き続きおこないました。次にペタンクと呼ばれる競技を今回初めておこないました。このペタンクと呼ばれる競技は、フランス発祥の競技で、コートに描いたサーカルを基点としてコートに置かれた目標にボールを投げ合つて、相手より近づけることで得点を競います。

簡単そうに見える競技ですが、実際にやつてみると、奥が深くて戦略が問われる競技でフロアカ

J Aえんゆう女性部では、11月1日に開催されたエーコープ収穫祭で「野菜と牛乳の無料配布」をおこない、今年収穫されたばかりの上湧別産玉ねぎと白滝産じやがいも、牛乳をセットにして、合計120袋の無料配布をおこないました。朝10時の開始から多くの方々に訪れていただき、盛況のうちに終了することができました。

皆さんに美味しい野菜と牛乳を味わつてもらつて、これを機会として、また手にとつてもらえたならうれしく存じます。

エーコープ収穫祭で
野菜・牛乳無料配布実施



野菜・牛乳無料配布の様子



たまねぎカンタン漬けを作つてゐるまいりました

野菜!!とPRしてきました
食農教室では、酪農家さんの「牛のおはなし」や野菜ソムリエによる野菜の食べ方のアドバイス、お米や野菜の無料配布などがあり農業者と消費者の楽しい催しでした。

また、会場では、農業者同士の交流も生まれ、有意義な一日となりました。

野菜!!とPRしてきました
食農教室では、酪農家さんの「牛のおはなし」や野菜ソムリエによる野菜の食べ方のアドバイス、お米や野菜の無料配布などがあり農業者と消費者の楽しい催しでした。

また、会場では、農業者同士の交流も生まれ、有意義な一日となりました。

道内各地の農業者が収穫したばかりの農作物を使って手作り料理をふるまい、消費者に食材のPRや食の安全について考えてもらうイベント「農家・消費者交流会」が札幌市東区のサッポロさとらんどで開催され、JAえんゆう女性部も参加してきました。

このイベントは農協観光の主催により、初めて開催され、道内各地から18の農業者団体などが参加し、地場産農産物

を使つたごはん料理やサラダ、漬物などの手料理の試食はもちろん、食育教室やクイズ、ゲームなどもおこなわれ、200人を超える家族連れなどが来場し、にぎわいをみせていました。

サッポロさんとらんどで農家・消費者交流会に参加

農協法公布記念日があたつて

北海道農業協同組合中央会
会長

飛田稔章



昭和22年11月19日に農業協同組合（農協法）が制定され、今年で67年目を迎えました。戦後の混乱期を背景とした中で、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立しました。言うまでもなく、農協は「農民による農民のための組織」として発足いたしましたが、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立つた中で、相互扶助の精神のもと、農協を拠り所として幾多の困難な課題を乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の構築に向けた事業展開を行ながる、今日に至っています。また、農協法は、時代の変化に即して必要な改正を重ねておますが、農協の組織・事業を運営する基本法として、重要な位置づけ・役割を担っています。このような経過の中、現在、規制改革の名のもと、農協組織改革に関する議論がなされておりますが、農協法公布記念日を契機

に、改めて農協が果たす社会的意義と役割について思いをはせ、共通認識を深める必要があります。かかる状況のもと、JAグループ北海道はその時々の国の農業政策を実践してきたという自負のもと、これまでの事業を再評価し、改めて組合員の皆様の多様な意見を把握すべく組織討議を実施いたしました。これらの取組みをもとに、今般、「JAグループ北海道改革プラン」「実行計画指針」をしてとりまとめ今後、その内容を踏まえ、JA・連合会・中央会は具体的な事業展開をはかることとしています。

「組合員の所得向上を通じた持続可能な本道農業の実現」と「農村地域の活性化を通じた豊かな地域社会の実現」をはかるべく、改めてJAグループが総力を結集し、国民各層の理解と共感を得ながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進していくことが重要であります。新たな動きとして、先般、傘下組合員10億人から成る国際協同組合同盟（ICA）が農協改革に関する声明をまとめました。

声明では、「2014年が国連の国際家族農業年として定められていい

る中、今般の日本政府の農協組織改革案は、農家による協同組織の結束と繁栄を脅かすものである」との懸念が示されています。日本の農協組織に対して、国際的な組織から力強いメッセージが発信されており、自らの組織は自らの意志で運営し発展させていくという信念と覚悟が肝要であるとの思いを新たにするものであります。

一方、日本の将来に関する重要な課題であるTPP交渉については、依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められております。

今後の動向は不透明かつ予断を許さない情勢にあります。が、農畜産物の関税撤廃のみならず、ルール改定や規制撤廃を通じ、国民生活に大きな影響を及ぼしかねない危険な交渉であるとの認識に立ち、改めて国会決議の順守を強く求めるとともに、国民理解の醸成に向けた活動を展開していく所存です。

農業・JAをとりまく情勢は、依然として激動しておりますが、我々の先人達も、英知と力を結集し、その時々の困難な状況を乗り越えてきました。

一つの時代にあつても共通して言えることは、食料は命に直結するものであり、生活に欠かすことができる極めて重要な位置づけにあるということです。

世界的に見ても、将来、人口増加とともに食料需給の逼迫が現実的な問題となつてゐる中、農業というものを競争原理主義一辺倒で捉えるのではなく、それぞれの国・地域における多様な農業の共存をはかり、持続可能な生命産業としてどう発展させていくかという、大局的な視点で捉えることが極めて重要であります。

我々、農業者・JAグループは、農業という生命産業に携わつてゐると、いう責任感と自負心を持ち、併せて、農業・JAに対する国民の理解と共感を得る不断の努力を行ひながら、先代が長年かけて築きあげてきた本道農業並びに農業協同組合の礎をさらに発展させ、後世につき継承できるよう、共に頑張ろうではありますか。

今後とも、本道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念がし、農協法公布記念日にあたつてのご挨拶といたします。

特集～「TPP交渉問題を考える」～



『TPPと食の安全安心』 《後編》

久田徳二

(北海道新聞編集委員・北海道大学客員教授)

遺伝子組み換え(GM)技術は、多くの分野の研究に用いられています。しかし、この技術で生まれた動植物の増殖や販売に対しては、世界中で一定の規制があります。安全性についてまだ確かめるべきことがあります。あるからです。

GM作物の商業栽培は日本国内では行われていません。消費者の意識はGM食品に対して厳しく、例えば北海道が行つたアンケートで約8割の人が「食べたくない」と答えていました。

しかし、海外では、すでに多くの組み換えた作物が栽培、販売されています。2011年の作付面積で言うと、大豆では米国の91%、世界では78%がすでにGMです。また米国では綿花の90%、トウモロコシの73%がGMです。

また、主食であるコメや小麦にも何らかのGM技術を用いる研究が進められています。さらに、体長が通常サケの2倍の巨大サケや、飲んでもアレルギーになりにくい牛乳を出す牛など、遺伝子組み換えが動物の世界にも広がっているとの報道もあります。

今、仮に、健康に悪い影響がある食料などの輸入を制限するルールを含め、「貿易障壁」とされるものを無条件に無くしてしまつたら、こうしてくることでしょう。

消費者の商品選択を支えるGM表示制度は、日米欧では異なるつており、米国では原則非表示です。それをそ

ば、日本で食品がG Mか否かを見分けられなくなります。消費者の不安は高まるでしょう。

G Mの問題のほかにも、米国や豪州の牛に使われている成長ホルモン剤、牛海綿状脳症(BSE)、残留農薬や食品添加物の問題もあります。

今夏には中国産の期限切れ鶏肉輸入問題が発生し、日本への輸入農産物の検査体制が不十分だったことも露呈しました。

食品の安全性をめぐつては、米国の「科学主義」と欧州の「予防原則」という考え方方が対立しています。健康に悪影響がないかについて、科学的に黒(悪影響がある)とはつきり分かるまでは限りなく白(悪影響がない)に近い、という考えが「科学主義」です。「予防原則」はその逆に、限りなく黒に近いという立場です。

TPP交渉に欧州は参加していない。米国主導で進んでいますから、他国が強く主張しない限り、米国の中では、食品安全安心が確保される可能性があります。他の国が強く主張しない限り、米国の中では、食品安全安心が確保される可能性があります。

遺伝子組み換え作物の栽培面積割合 (2013年)

(%)	大豆	トウモロコシ	綿花	ナタネ
米国	93	90	90	不詳
世界	79	32	70	24

(出典:米国連邦農務省データ、モンサント社ホームページ)

北海道新聞編集委員・北海道大学農学部客員教授

久田徳二 (ひさだ とくじ)

【略歴】

1957年名古屋市生まれ。北大農学部卒。85年北海道新聞社入社。旭川報道部を振り出しに記者活動。1993~94年に米国カリフォルニア大で客員研究員として「持続可能型農業」を研究。96年には政治報道で日本新聞協会賞、日本ジャーナリスト会議奨励賞、北海道新聞社長賞を受賞した。本社政治部、東京政治経済部の記者、釧路支社編集委員、本社報道本部編集委員などで、農水省担当や道庁・政党担当、道内各地の政治経済、農林水産担当などを経験。2011年7月から本社編集局編集委員。「あぐり博士と考える食と農」シリーズなどを担当。14年7月から北海道大学大学院農学研究院(農学部)客員教授。

(2014年7月1日現在)

日本とEUのGM食品表示比較

	日本	EU
対象食品	食用油や醤油などは除外	全食品表示
対象品目(成分)	上位3品目(重量比5%以上)のみ表示	限定なし
意図しない混入の許容率	5%	0.9%
外食	表示の対象外	メニューに表示
飼料	表示の対象外	表示
わかりやすさ		「GMO」表示か、非表示(=不使用)

普及センターより



「秋まき小麦雪腐病防除」

雪腐病防除は良質小麦の安定生産には欠かせません。雪腐病が発生すると、茎数の減少や生育の遅れから収量・品質の低下を招くどころか廃耕になるほ場もあります。被害を最小限に抑えるためには、薬剤による防除と排水対策等の耕種的対策の徹底が必要です。

三 雪腐病の耕種的対策

越冬前や融雪期に滯水したり過

二 散布時期と散布方法

本年、農試より各種薬剤の残効性と再散布の目安が示されました。個々の圃場条件や作業体系に合わせて薬剤を選択してください。合

が違うことがわかりました（表3）。薬剤の散布は「根雪直前」の散布が効果的ですが、残効性の長さが、残効性の長い散布が可能になりました。薬剤によっては早めの散布が可能です。

一 薬剤による雪腐病防除

薬剤防除は、雪腐病の種類に応じた薬剤の選択が重要です（表1）。本年当地区では紅色雪腐病及び褐色小粒菌核病の発生が多く見られました（表2）。特に連作圃場では、発生状況に応じた薬剤の選定が必要です。

表1 秋まき小麦の雪腐病防除薬剤

	虹 色 雪 腐 病	大 粒 菌 核	黒 色 小 粒 菌 核	褐 色 小 粒 菌 核 病	希 釗 倍 率	使 用 回 数
フロンサイド水和剤	○	○	○	○	1,000倍	2
リゾレックススペランフロアブル	○		○	○	500～750倍	2
バシタックベフランソル	○	○	○	○	400倍	2
トップジンM水和剤		○			2,000～2,500倍	3
チルト乳剤	2.5	○	○	○	750～1,000倍	2

※無人ヘリ登録は地区農作物病害虫・雑草防除ガイド参照

※フロンサイド水和剤・バシタックベフランソルは混用単用間わざ展着剤を加用する。

※リゾレックススペランフロアブルにトップジンM水和剤を混用する場合は、展着剤を加用する。

悪くなり雪腐病にかかりやすくなるので、溝を切るなどの排水対策が温状態になると越冬前後の生育に努めましょう。

表2 H26病害別発生割合 (%)

	大粒 菌核	褐色 小粒 菌核	黒色 小粒 菌核	紅色 雪腐	褐色 雪腐
遠軽町	0	35	15	50	0
湧別町	0	30	8	62	0
佐呂間町	0	1	19	80	0

※網走農業改良普及センター遠軽支所調べ

表3 各雪腐病防除薬剤の効果低減・再散布の目安(根雪までの降水量)

	黒色小粒菌核	褐色小粒菌核		大粒菌核		褐色雪腐病	
		積算 120mm 日最大 65mm	積算 150mm —	積算 120mm 日最大 65mm	—	—	—
フロンサイド水和剤	—	—	—	—	—	—	—
シルバキュア フロアブル	積算 100mm 日最大 40mm	積算 85mm —	—	—	—	—	—
トップジンM水和剤	—	—	—	—	積算 60mm 日最大 40mm	—	—
リゾレックススペラン フロアブル	積算 40mm 日最大 15mm	積算 25mm —	—	—	—	—	—
ランマンフロアブル	—	—	—	—	—	積算 150mm	—

表4 各薬剤の効果低減・再散布の目安(根雪までの降水量)

	防除日 雪腐病の種類	過去20年間(1994～2013年)で目安を超えた年数								
		11月1日		11月10日		11月20日				
		黒小	褐小	大粒	黒小	褐小	大粒	黒小	褐小	大粒
遠 軽	フロンサイド水和剤	2	1	2	1	0	1	0	0	0
	シルバキュアフロアブル	3	4	—	1	1	—	1	1	—
	トップジンM水和剤	—	—	7	—	—	1	—	—	1
	リゾレックススペランフロアブル	11	15	—	8	12	—	2	3	—
湧 別	フロンサイド水和剤	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	シルバキュアフロアブル	1	3	—	0	0	—	0	0	—
	トップジンM水和剤	—	—	5	—	—	1	—	—	0
	リゾレックススペランフロアブル	10	14	—	4	10	—	0	2	—
佐 呂 間	フロンサイド水和剤	2	1	2	2	0	2	0	0	0
	シルバキュアフロアブル	2	3	—	2	2	—	0	1	—
	トップジンM水和剤	—	—	9	—	—	4	—	—	3
	リゾレックススペランフロアブル	10	16	—	8	13	—	4	7	—

※遠軽・湧別のデータによる。(湧別の根雪は遠軽のデータを参考にした)

※1997年の湧別のデータは欠測のため過去19年間のデータ。

農家経営

夢実現への必要家計費を 考えてみましょう

一 どんな夢がありますか？

わが家の農家生活をどのように暮らしていきたいですか？そのためには、「いつ」「どのくらい」の資金が必要でしょうか？

家族のライフサイクルによつて必要な家計費は変化します。長い周期で家計費を捉えることで、資金の準備が可能になります。

そのシミュレーションのために、ホーツク版生活設計Naviを作成しました。

二 オホーツク版生活設計 Navi ができること

① 現状の確認

・世帯毎だけでなく、家族全員の家計費や所得とのバランス等が確認可能です。

② 家族のライフサイクルを考慮した家計費の見積もり

・家計費が最も多い時期や、貯蓄目標金額を確認できます。

③ 農業所得と生活費のバランスの確認

・今後の農業所得で今後の教育費が確保できるのか？

・機械の買い替え時期と家計費の確認

ピーク時期を確認できます。

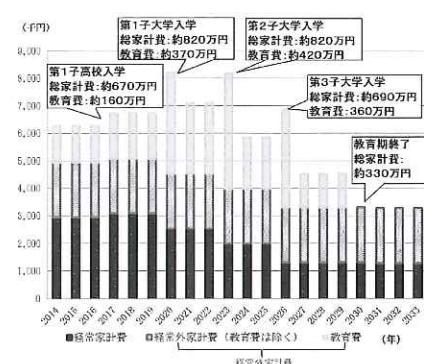


図1 Naviを活用した経常家計費と経常外家計費の推移
(例: 経営主夫婦+子ども3人: 公立高校+国立大学進学)

北海道信連実習職員紹介



この度、10月27日から、JA本所

金融課に北海道信連北見支所の男性職員1名が、12月26日までの2か月間実習に来ております。

加賀 将士
① 昭和63年3月8日・O型
② 美唄市
北海学園大学
③ 趣味: 登山、スキー、釣り、お酒
特技: 利き酒 (テキーラですが)
④ 暗そうに見えますが実は明るいです。

短い間ではありますが、組合員の皆さんとのところにも来訪する機会が多くあることと存じますので、皆さんの温かいご支援ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

★質問事項★

- ① 生年月日・血液型
- ② 出身地・出身校
- ③ 特技・趣味
- ④ 自分の性格
- ⑤ 抱負

考えるより行動するタイプです。
不慣れな点多々あると思いますが、一生懸命がんばりますので、皆さんよろしくお願いいたします！
課にお世話になります。
⑤ 2か月間、えんゆう農協本所金融



理事会のあらまし

第9回理事会

(平成26年9月26日)

◇報告事項

1. 第15回JA組合長杯パークゴルフ大会結果について
2. 反社会的勢力定期確認結果について
3. 酪農学園大学主催による酪農公開講座の開催結果について
4. 組合員の異動状況について
5. JA共済コンプライアンス点検結果について
6. その他
・甜菜部会ならびに玉葱部会について
・飼料取りまとめについて
7. 出資金の減口について
8. 役員研修視察の実施について

出について

原案通り承認されました。

3. 冬の定期貯金キャンペーンの実施について

原案通り承認されました。

4. 一日皆貯金の実施について

原案通り承認されました。

5. 組合員に対する資金の貸付について

原案通り承認されました。

6. 理事への貸付について

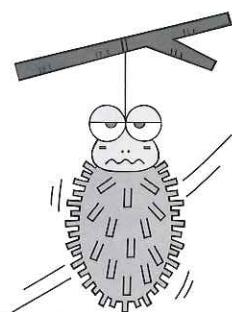
原案通り承認されました。

7. 出資金の減口について

原案通り承認されました。

8. 役員研修視察の実施について

原案通り承認されました。



読者の声

シソの蒸留作業も終わり、ビートの収穫を残すだけになりました。主人と2人1年分の汗の結晶を満喫して、最後の収穫をがんばります。

(P.N ゆうの母より)

収穫作業もラストスパートですが、最後まで気を抜かず、農作業事故に留意して頑張ってください。

朝晩がすっかり冷え込むようになり、そろそろ初雪も降るし、あと2カ月ほどでついうちに1年終わってしまいます。早いな。(匿名)

「光陰矢の如し」とはよく言つたもので、気付いたら1年が終わってしまいますね。

出会い、暮らし、思い出。そして、別れ。。。。。

人生最後の葬祭の儀式。

それは故人の哀悼の念を捧げる厳粛な場ではなくなりません。

えんがる斎場は、突然に訪れた予告のない儀式をつつがなく執り行うため、悲しみに暮れるご遺族に、最良の方法と、こまやかな心くばりでご奉仕いたします。

個人葬をはじめ、多くのご会葬の方々をお迎えする大規模な社葬、団体葬など、宗教・宗派を問わず、最新の設備で、葬祭に関するすべてのことをお手伝いさせていただきます。



株式会社

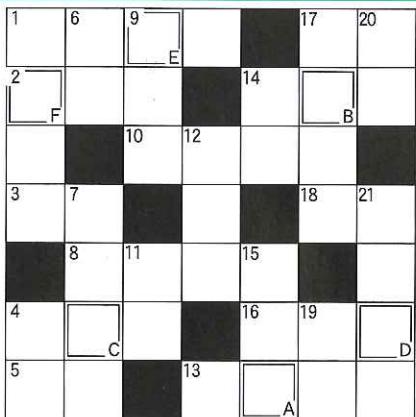
えんがる葬祭

〒099-0401 北海道紋別郡遠軽町学田2丁目6番地1

TEL (0158) 42-9898

FAX (0158) 42-9933

プレゼント付きクロスワードパズル



○ タテのカギ

1 日本で一番流域面積の広い川
2 木を切り倒すときに使います
3 海岸に寄せては返す
4 へつくしょん！
5 舞台の向かって右側の方
6 風に乗って大空に揚がります
7 動物などの雄雌1ペアのこと
8 防音や防寒のために二重になつて
9 いることも
10 一年で最も昼が短い日
11 落ち葉を発酵させて作ります
12 飲むと酔います
13 焼きそばやお好み焼き、たこ焼き
14 よく掛けられています

○ ヨコのカギ

1 サンタクロースのそりを引く動物
2 それは驚いた、——に水の話だ
3 眼鏡の場合はフレームともいいま
4 鶏肉を卵でとした——丼
5 木材などを彫ったり削ったりする
6 ときに使います
7 ポピンに巻いてミシンにセットし
8 ます
9 宮沢賢治の著作『銀河——の夜』
10 お出掛け前、窓や玄関の鍵を確認
11 して確実に
12 東京にある新幹線の駅の一つ
13 マフラーの端に——飾りを付けた
14 ノブを持って開けます

10月号の答えは「ジネンジョ」でした。
木々の葉も落ち始めて、まもなく冬ですね。

当選者は下記の方々です。

福本 和子さん
長倉 義雄さん
西原 弘子さん

～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、
身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。

正解者の中から抽選で毎月3名の方に、
粗品をプレゼント致します。

締め切り 11月25日(火)

秋の農事部懇談会開催について

例年実施しております秋季農事部懇談会を下記の日程により開催いたします。
日程上、都合の悪い場合は、本所営農課若しくは各支所までご連絡お願ひいたします。

【秋季農事部懇談会日程】

	午 前 10:00~12:00	午 後 13:30~15:30
12月 1日(月)	屯市・5の2・5の3 JA本所会議室	4の3 JA本所会議室
12月 2日(火)	開盛・札富美・旭 JA本所会議室	4の1・4の2 JA本所会議室
12月 3日(水)	富美・上富美 富美住民センター	5の1 JA本所会議室
12月 5日(金)	安国・生田原・清里 JA生田原支所会議室	遠軽・学田・清川 社名渕・瀬戸瀬第1,2 JA遠軽支所会議室
12月 6日(土)	丸瀬布・白滝 白滝集落センター	予備日



11月19日(水)は『一日皆貯金』の日です

11月19日は、第67回目の農協法制定記念日です。毎年この日を記念して全職員顧客訪問による「一日皆貯金」を実施しております。

毎年の恒例行事となり、一日皆貯金には1000名以上ものお客様に貯金をしていただいており、今年も、職員が皆様のお宅に集金におうかがいすることと存じますが、ご協力お願い申し上げます。

～懸賞金～

特賞	5本	10,000円
金賞	15本	5,000円
銀賞	35本	3,000円
銅賞	100本	1,000円



※当選発表については、1月号の誌面において発表し、
当選者には別途ご案内いたします。



第176号 やっぱりヒーロー

ひもたま作造くん
作: HIDETO 絵: HISAMI